

国際委員会企画を開催しました！

2025 年 11 月の学会では、国際委員会による 3 つの企画セッションを開催しました。

海外のスポーツ医学について学ぶ特別講演から、参加者同士が交流できる企画まで、多くの先生方にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

海外のスポーツ医学を学ぶ特別講演

特別講演では、海外で活躍されている先生方をお招きし、それぞれの国におけるスポーツ医学の実践や研究についてご講演いただきました。

「Return to play after foot ankle disease (my experiences) and team physician in professional and national representative team and medical administrator in K league (30 years experiences)」

Kyung tai Lee 先生

(KT Lee Orthopedic Hospital, Republic of Korea)

K リーグや韓国代表チームでの豊富な経験をもとに、足関節疾患後の競技復帰 (Return to Play) やチームドクターとしての役割についてご紹介いただきました。

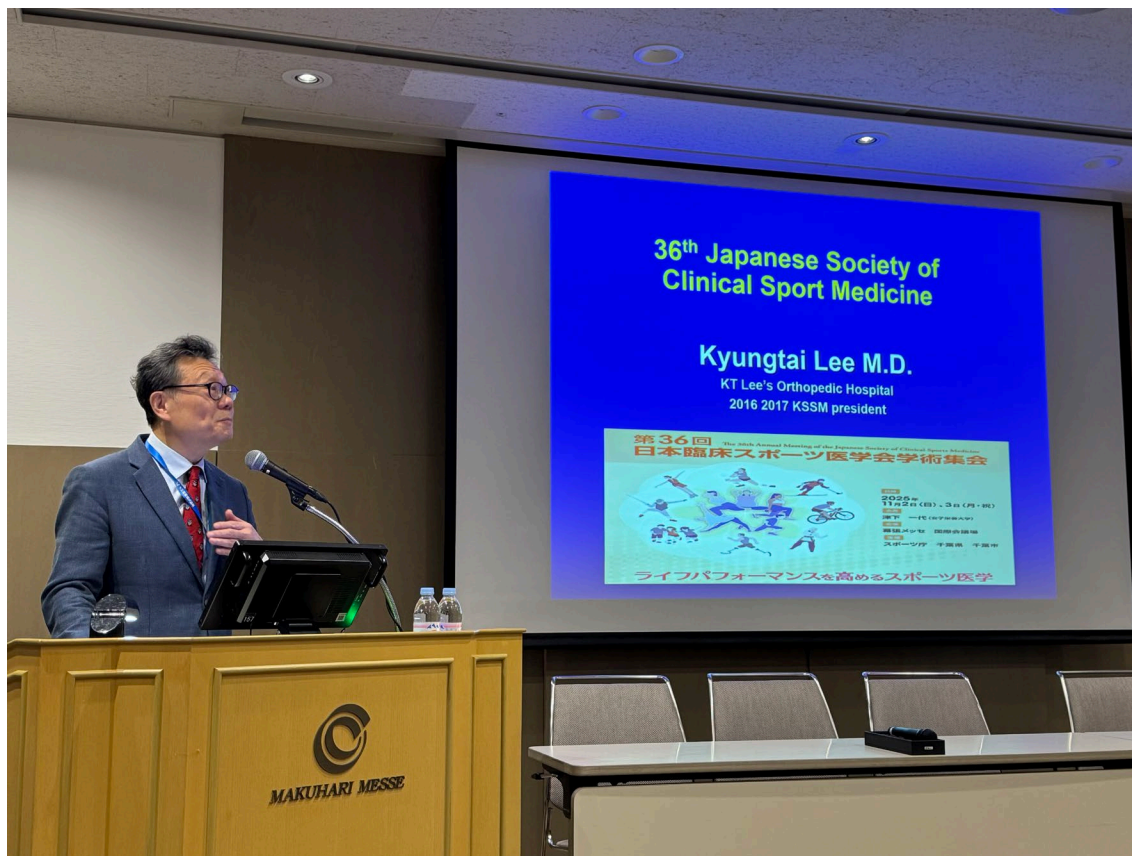


写真 1 / KT Lee 先生の講演風景

「ACL Denmark: A nationwide epidemiology study of ACL injuries from 2000-2018」

Niels Christian Kaldau 先生

(Sports Orthopedic Research Center – Copenhagen, Denmark)

デンマーク全国規模の ACL 損傷疫学研究についてご講演いただき、海外におけるデータ活用や研究体制について学ぶ貴重な機会となりました。

日本との共通点や違い、各国ならではの教育・研究体制など、普段なかなか聞くことのできない内容に、会場からも多くの質問が寄せられました。



写真 2 / Niels 先生の講演風景

国際交流について活発なディスカッション

国際委員会企画「スポーツ医学会の国際交流と発展 Integrating Science, Policy and Practice: Advancing Sports Medicine for Aging Societies」では、多彩な演者の先生方にご登壇いただきました。

主な講演

- Yong-Kyun Kim 先生「Quality control of the KSSM-certified specialist in sports medicine」
- Dae-Hee Kim 先生「A Legal and Regulatory Perspective on the Advancement of Sports Medicine」
- 塚原 由佳 先生「Sports Medicine and Global Career Path」
- Chulhyun Kim 先生「Enhancing Skeletal Muscle Health: A Combined Approach of Astaxanthin and Electrical Muscle Stimulation (EMS)」
- 小熊 祐子 先生「The Status of Collaboration between Sports Facilities and Medical Facilities in Japan」

国際交流の重要性だけでなく、教育、制度、研究、キャリア形成など幅広いテーマについて活発な議論が行われました。世代や所属を超えて意見交換ができるのも、この企画の魅力の一つです。



写真 3 / YK Kim 先生の講演風景

交流企画では新たなつながりも

午後の国際委員会交流企画では、海外研修やトラベリングフェローシップを経験された先生方から、実際の体験談をご紹介いただきました。

主な講演

- 濱井 彩乃 先生「AMSSM トラベリングフェローを経験して」
- 藤本 秀太郎 先生「トラベリングフェローシップ参加の準備と実務」
- 倉坪 亮太 先生「トラベリングフェローへの参加動機と得られた経験」
- 水野 雄伸 先生「トラベリングフェローで感じた国際交流」

交流企画では、ランチョン企画として、ご飯を食べながらトラベリングフェロープログラムの内容についての報告が行われました。

参加者と聴講者の間でも盛んに意見交換が行われ、国際企画に興味があるものの、語学に苦手意識を持つ参加者に対して、実際の経験を踏まえたアドバイスも共有されました。

「海外とどうつながるのか?」「国際活動にどう関わればよいのか?」といったテーマについて、実際の経験をもとに活発な交流が行われました。

若手の先生方にも積極的に参加いただき、新しいつながりや今後の活動につながる場となりました。

2026 年度学会でも国際委員会企画を予定しています！

国際委員会では、2026 年度学会においても国際交流をテーマとした企画を予定しています。

海外スポーツ医学の最新情報、国際共同研究、海外研修・留学、グローバルキャリアなど、多彩なテーマを通じて、参加者同士が学び、交流できる場を目指しています。

- 国際交流に興味がある
- 海外のスポーツ医学を学びたい
- 他施設の先生方とつながりたい
- 学会活動に参加してみたい

そのような方は、ぜひお気軽にご参加ください。

次回のトラベリングフェローの募集は 2028 年を予定！

トラベリングフェローシップの次回募集は 2028 年春頃を予定しています。

2027 年には、アメリカ、デンマーク、韓国から来日し各施設への訪問や学会参加を予定しています。

アメリカ、デンマーク、韓国など、海外のスポーツ医学に興味のある方、国際交流に挑戦してみたい方の参加をお待ちしています。

若手の先生方、初めて学会活動に参加される方も大歓迎です。

2026 年度学会で、多くの皆さまとお会いできることを楽しみにしています！

文責：日本臨床スポーツ医学会 国際委員会